

石川工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	管理工学
科目基礎情報						
科目番号	17370		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電子情報工学科		対象学年	5		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	「生産管理工学」（理論と実際） 富士明良 （東京電機大学出版局）					
担当教員	吉川 博					
到達目標						
1. ものづくりの仕組みや過程を学習し、技術者として要求されている課題について自覚できる。 2. いろいろな管理手法の違いを認識し、マネジメントの基礎知識を身につける。 3. いろいろな組織の仕組みや情報の流れを理解し、具体的な改善の提案ができる技術者となる。 4. トヨタ生産方式の歴史と成果を学習し、日本的生産方式の特徴と世界に対する貢献を考察する。 5. 安全衛生管理の基本を学習し、人にとって有用な組織とは何かを考察し、整理する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標項目1	到達目標の内容に関する知識を理解し応用できる。		到達目標の内容に関する知識を理解できる。		到達目標の内容に関する知識を理解できない。	
到達目標項目2	到達目標の内容に関する知識を理解し応用できる。		到達目標の内容に関する知識を理解できる。		到達目標の内容に関する知識を理解できない。	
到達目標項目3	到達目標の内容に関する知識を理解し応用できる。		到達目標の内容に関する知識を理解できる。		到達目標の内容に関する知識を理解できない。	
到達目標項目4	到達目標の内容に関する知識を理解し応用できる。		到達目標の内容に関する知識を理解できる。		到達目標の内容に関する知識を理解できない。	
到達目標項目5	到達目標の内容に関する知識を理解し応用できる。		到達目標の内容に関する知識を理解できる。		到達目標の内容に関する知識を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
本科学習目標 1 本科学習目標 2 創造工学プログラム F1専門(電気電子工学&情報工学)						
教育方法等						
概要	授業の目標 フォード生産方式を学ぶことから始まった、日本の工業生産の変遷を概観しながら、時代の変化に合わせた新しい生産方法の知識と課題を学習する。また、大量生産から多品種少量生産を求める社会ニーズに対応するために考え出され、多くの成功事例を重ねているトヨタ生産方式、ジャスト・イン・タイムの手法を学び問題解決能力を体得する。あわせて、企業の社会的責任や技術者のあり方についても、考察し、たゆまず努力する自律心を養成する。					
授業の進め方・方法	【事前事後学習など】授業内容の理解を深め、到達目標の達成度を確認するため、2回のレポートを課す。 （第5週） 例：QC7つ道具を活用した課題解決 （第12週） 例：MPR、トヨタ生産方式の活用と課題 ものづくりの歴史と現在の課題、将来の見通しを丁寧に説明するので、広い視野で受けとめること。 工業生産分野に興味に向かないとしても、技術者として将来の業務に必須の知識であるので、授業時間内で理解できるよう、意識を集中して受講すること。 最新の話題も取り上げるので、新聞、テレビ類の産業関連報道には傾注することが必要。					
注意点	【評価方法・評価基準】 試験（90%）、レポート(10%)					
テスト						
授業計画						
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標	
		1週	管理工学概論、組織マネジメント概論		管理工学概論、組織マネジメント概論の知識を理解し応用できる。	
		2週	生産管理の目的と仕組み		生産管理の目的と仕組みの知識を理解し応用できる。	
		3週	PDCAサイクル、品質管理の歴史、問題解決手法		PDCAサイクル、品質管理の歴史、問題解決手法の知識を理解し応用できる。	
		4週	TQC、品質管理と統計的手法の基礎		TQC、品質管理と統計的手法の基礎の知識を理解し応用できる。	
		5週	生産性分析、統計的管理と実験計画法		生産性分析、統計的管理と実験計画法の知識を理解し応用できる。	
		6週	工場管理、IE、生産形態と作業管理		工場管理、IE、生産形態と作業管理の知識を理解し応用できる。	
		7週	生産工程管理、セル生産と個別生産、オートメーション		生産工程管理、セル生産と個別生産、オートメーションの知識を理解し応用できる。	
	8週	原価管理、購買管理、在庫管理		原価管理、購買管理、在庫管理の知識を理解し応用できる。		
	2ndQ	9週	外注管理、人事管理、MRP		外注管理、人事管理、MRPの知識を理解し応用できる。	
		10週	安全衛生管理と環境管理		安全衛生管理と環境管理の知識を理解し応用できる。	
		11週	知的財産権と工業所有権		知的財産権と工業所有権の知識を理解し応用できる。	
		12週	トヨタ生産方式、かんばん、ジャスト・イン・タイム		トヨタ生産方式、かんばん、ジャスト・イン・タイムの知識を理解し応用できる。	
		13週	TPM、PL、企業の社会的責任		TPM、PL、企業の社会的責任の知識を理解し応用できる。	
		14週	企業活動と国際規格		企業活動と国際規格の知識を理解し応用できる。	
15週		前期復習		管理工学全般の知識を理解し応用できる。		

		16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	90	0	0	0	10	0	100	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	90	0	0	0	10	0	100	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	